

みんなの健康ラジオ

『慢性副鼻腔炎について』

(2024年11月28日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

横浜市立市民病院

塩野 理

慢性副鼻腔炎とは？

- 副鼻腔に炎症が生じることを副鼻腔炎と呼ぶ。発症早期は急性副鼻腔炎であり、3カ月以上治らない場合、慢性副鼻腔炎と呼ぶ
- 急性副鼻腔炎は純粹な感染症であるが、慢性副鼻腔炎は感染症だけではなく、さまざまな要素が絡み合い、複雑な病態となっている。そのため、適切に診断しないと、なかなか治らないことになる
- 慢性副鼻腔炎では、鼻の中にポリープができたり、黄色や緑色の粘っこい鼻水が出たりする。顔のレントゲンやCT検査で副鼻腔に影がある。

慢性副鼻腔炎とは？

- 慢性副鼻腔炎は、大きく3つに分類される

①好酸球性副鼻腔炎：喘息と同じような体質によって、鼻の中に小さなポリープが多発したりにおいがしにくくなったりするもの。内視鏡手術や薬の治療後に再発が多いことも特徴。重症、中等症は難病に指定される

②いわゆる蓄膿症：慢性の細菌感染症で大きなポリープができることがある。内視鏡手術や長く使える抗生物質で治ることが多い

③特殊な副鼻腔炎：歯性上顎洞炎、真菌性副鼻腔炎、鼻の中の形の問題（解剖学的異常）のため副鼻腔炎が治りにくいもの、他の病気の合併症など

慢性副鼻腔炎に対する手術

- 慢性副鼻腔炎の種類にかかわらず、鼻腔と副鼻腔の通路となっている細い孔を大きく開け、副鼻腔の内部をきれいにする手術は効果が高い。鼻副鼻腔の手術は内視鏡で行われ、目や脳を損傷する危険性が低く、出血量も少ない
- 手術の最後に止血目的のガーゼを入れるが、それを抜くのが痛いために手術をためらう人が多い。昔のガーゼは傷に張りついてしまい、抜くときに痛みで倒れる人が多かったが、今のガーゼはスポンジ状のため、ツルっと抜けるのでそれほど苦痛は大きくない

慢性副鼻腔炎に対するお薬

- 慢性副鼻腔炎全般：抗生物質や粘稠な鼻水を溶かしやすくするお薬、アレルギー性鼻炎で使う、鼻詰まりに効く飲み薬や点鼻薬など。抗生物質はマクロライド系というお薬を長期間使うことが多い
- 好酸球性副鼻腔炎：一番効果があるのはステロイドホルモン剤であるが、最初から使うことは副作用の面からためらわれる。最初は慢性副鼻腔炎全般に対するお薬が使われるが、効果は低い。手術してもポリープが再発した場合、バイオ製剤というお薬を注射すると効果が高いが、非常に高価である